

令和 2 年 8 月 3 日

大型公共施設建設調査特別委員会

市民部スポーツ振興課

四ツ池公園運動施設について

- 1 四ツ池公園運動施設の駐車場について . . . 資料 1
- 2 陸上競技場のコストについて . . . 資料 2
- 3 陸上競技場の整備方針について . . . 資料 3
参考資料 Jリーグスタジアム基準

四ツ池公園運動施設の駐車場について

1 四ツ池公園陸上競技場の現状

- 現在の駐車場台数は、普通車 255 台
- 大会開催に必要な駐車台数は、観客分を除き 200 台～450 台（四ツ池公園陸上競技場の主な利用団体への聞き取りによる）
- 不足する場合は、大会主催団体が近隣企業などに駐車場を借用して対応
- 現在の四ツ池公園陸上競技場で選手・観客数が最も多い大会（西部月例陸上大会）でも浜松球場と行事が重ならなければ駐車場は足りている

| 主要大会 | 必要台数 | 備考 |
|----------------------------|---------|---|
| 浜松市小学校陸上大会 主催：小学校体育連合 | 約 450 台 | 四ツ池：約 230 台 (野球場利用者と共用、通路も使用) 近隣企業など：約 220 台で対応 |
| 浜松地区中学夏季総体 主催：中学校体育連合 | 約 240 台 | 野球場利用日と重ならないよう調整 |
| 西部月例陸上大会 主催：静岡 西部陸上競技協会 | 約 200 台 | 四ツ池：約 120 台 近隣企業など：約 80 台で対応 |

出典：四ツ池公園陸上競技場で大会を主催する主な団体へ聞き取り(スポーツ振興課実施)

2 大規模大会などを開催した場合

- 小笠山運動公園陸上競技場で開催される「静岡国際陸上競技大会」、Jリーグやラグビーのトップリーグの試合開催時の運営にあたり必要な駐車台数は 350 台程度（観客を除く）

| 大会名 | 必要台数 | 備考 |
|---|---------|------------------------|
| 静岡国際陸上競技大会 主催：静岡県陸上競技協会 会場：小笠山運動公園陸上競技場 | 約 350 台 | 審判員 250 人、スポンサー、メディアなど |
| Jリーグ・ラグビートップリーグ (ジュビロ磐田・ヤマハ発動機ジュビロ) 会場：ヤマハスタジアム (磐田市) | 約 350 台 | スタッフ、メディア、物販、スポンサーなど |

出典：大会主催者などへの聞き取り (スポーツ振興課実施)

☞ 四ツ池公園スポーツエリアの敷地面積（現状）

| | |
|-----------|-------------------------|
| 陸上競技場 | 約 28,600 m ² |
| 野球場（浜松球場） | 約 21,000 m ² |
| 第 2 野球場 | 約 8,000 m ² |
| 自由広場 | 約 10,000 m ² |
| 駐車場 | 約 6,000 m ² |
| その他（園路など） | 約 27,500 m ² |
| 計 | 101,100 m ² |

1 公認陸上競技場のコストについて

| 利用区分 | 施設名 | 建設費平均 | 年間維持管理費 (3か年平均※) | 利用料金 (3か年平均※) |
|-----------|---|-------------|---------------------|------------------|
| 1種 多目的 | ・川崎市等々力競技場 ・岐阜メモリアルセンター ・瑞穂公園陸上競技場 | 5,951,000千円 | 458,085千円 | 41,150千円 |
| 1種 | ・厚別公園陸上競技場 ・草薙陸上競技場 ・福井県営陸上競技場 ・ヤンマーフィールド長居 ・博多の森陸上競技所場 | 4,173,233千円 | 262,428千円 | 9,963千円 |
| 2種 多目的 | ・相模原ギオンスタジアム | 3,461,535千円 | 132,379千円 | 17,798千円 |

※陸上競技場に係る他都市事例のうち、収容人員15,000人～30,000人のものから抽出

※年間維持管理費、利用料金はH28～H30の平均

2 直近に建設された公認陸上競技場の建設費について

| 利用区分 | 施設名 | 建設費・建設年度 | 収容人数 | その他(収容人数・建設経緯など) |
|-----------|---|-----------------------|----------|--|
| 1種 多目的 | カクヒログループアスレチック スタジアム(青森県)  | 約160億円 平成30年(新設) | 約21,000人 | 県内唯一の第1種公認陸上競技場である旧陸上競技場が老朽化により、公認取得(更新)するためには大規模な改修工事が見込まれたこと、及び2025年に開催される国スポ大会の会場としても整備する必要があった |
| 1種 多目的 | 長崎トランスコスモスタジアム(長崎県)  | 約81億円 平成25年(大規模改修) | 約20,000人 | 昭和44年の第24回長崎国体の際に建築され、その後、平成26年の第69回長崎国体の際に建替。 V・ファーレン長崎のホームスタジアム |
| 1種 | 三重交通Gスポーツの杜 伊勢陸上競技場(三重県)  | 約88億円 平成29年(大規模改修) | 約19,000人 | 陸上競技場は、平成30年のインターハイ、令和3年の三重とこわか国体の会場となったが、老朽化しており、国体の施設基準を満たしていないことから、改築・改修を行った |
| 2種 多目的 | ケーズデンキスタジアム水戸(茨城県)  | 約35億円 平成21年(大規模改修) | 約12,000人 | 水戸ホーリーホックのホームスタジアム |

陸上競技場の整備方針について

◆ コンセプトのイメージ ◆

<規模・ターゲット>

- 国内外からの集客の要となるスポーツ施設
- 全国の中高生にとってハレの舞台となる施設
- 地元の中高生などが練習に励む施設

<保有する機能>

- 多目的なスポーツが実施できる機能
- 練習機能（室内・種目専用など）

※ 近隣施設との差別化によりターゲットの絞り込みが必要

【参考】

◆古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)のコンセプト：平成 21 年 1 月建設「国際大会も開催可能な競技施設」としての機能と「健康増進・レジャー・リラクゼーションエリア」としての機能、それぞれ異なる機能を併せもつ、今までに例のない、まったく新しいタイプの水泳場



メインプール



リラクゼーションプール

Jリーグスタジアム基準

凡例

- ◎＝必ず具備しなければならない条件
- ＝必ず具備しなければならない条件ではあるが、規則等で例外適用が認められた場合はその限りではない
- ★＝具備が必要とされるものの、期限については検討を続けていく条件
- ★＝具備することが望まれる条件

| 必須とされる設備 | | 内容 | J1・J2基準 | J3基準 | |
|--|---|--|--|------|---|
| スタジアム規模等 | 入場可能者数 ※ | J1は15,000人以上、J2は10,000人以上(芝生席は観客席とはみなされない) | ○ | - | |
| | | J3は原則として5,000人以上 | - | ○ | |
| | 観客席 | 椅子席で、J1は10,000席以上、J2は8,000席以上の座席があること | ○ | ★ | |
| | | 全席個室であること(ACLは5,000席以上の個室で、番号が付けられ、背もたれが必須) | ★★★ | ★ | |
| | 車椅子席 | 介助者の椅子を備えること | ◎ | ◎ | |
| | | 雨に濡れないこと | ★★★ | ★★★ | |
| | VIP席 | 50席以上 | ★★★ | ★ | |
| | | 80席以上 | ★ | ★ | |
| | | 車椅子用のVIP席を設けること | ★ | ★ | |
| | 記者席 | 80席以上 | ★★★ | ★ | |
| ビジネスシート | ビジネスラウンジを備えたビジネスシートを複数設置すること | ★★★ | ★★★ | | |
| スカイボックス | 個室のラウンジと観客席を備えたスカイボックスを複数設置すること | ★★★ | ★★★ | | |
| 屋根 | 新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、原則として屋根はすべての観客席を覆うこと | ◎ | ★ | | |
| 照明 | ピッチ内いずれの箇所においても照度1500ルクス以上の明るさを保持し、均一であること | ◎ | 2022年6月までに必ず具備 | | |
| 競技用設備 | ピッチ | 寸法 | 105m × 68m | ◎ | ◎ |
| | | 天然芝もしくはJリーグが認めたハイブリッド芝 ※ | 平坦であること 常緑であること 水はけが良いこと | ◎ | ◎ |
| | 予備エリア | 原則としてピッチの外側にそれぞれ5m以上、ただし陸上競技場兼用の場合はそれぞれ1.5m以上(したがって陸上兼用の場合は縦長108m以上、横幅71m以上の芝生部分を確保すること) | ★★★ | ★★★ | |
| | チーム更衣室 | 2室 25人以上の更衣設備を備えること(ACLは30人) 120㎡程度 | ◎ | ◎ | |
| II 諸室・スペース | 審判更衣室 | 4人の更衣設備を備え、7人以上収容可能な部屋。追加副審(AAR)採用の場合、2名追加対応できること | ◎ | ◎ | |
| | 室内ウォームアップエリア | 両チームが同時にかつ別個に使用できること 人工芝であること | ◎ | ◎ | |
| | マッチ・コーディネーション・ミーティング室 | 13人以上収納可能な部屋。追加副審(AAR)採用の場合、2名追加対応ができること | ◎ | ◎ | |
| | 運営本部署 | 100㎡程度 | ★★★ | ★ | |
| | 記録室 | 原則個室であること、4人が横並びで並んで座れる広さであること | ◎ | ★★★ | |
| | 場内放送室 | 個室で設置すること。3人が横に並んで座り、マイクや書類を置く机及び機材を設置できる広さであること | ★★★ | ★★★ | |
| | 大型映像操作室 | 個室で設置すること | ○ | ★ | |
| | 警察・消防指令室兼控室 | 監視カメラモニター、専用トイレを備えること | ★ | ★ | |
| | 医務室 | 50㎡程度 | ★★★ | ★ | |
| | VIP関連 | VIP専用トイレを設置すること | ★★★ | ★ | |
| メディア | 記者室 | 80人以上収容可能な部屋 | ★★★ | ★ | |
| | カメラマン室 | 40人以上収容可能。カメラ用ロッカー、冷蔵庫を設置すること | ★★★ | ★ | |
| | 記者会見室 | 200㎡程度 | ★★★ | ★ | |
| | 中継 | 実況放送室 | テレビモニターや書類を置く机および機材を設置できる広さであること。テレビ中継を行う部屋については原則、4人が横に並んで座れること | ◎ | ◎ |
| 中継スタッフ控室 | 複数用意すること | ★★★ | ★ | | |
| アクセス関係 | スタジアムへのアクセス | 次の条件のいずれかを満たしていること (1) ホームタウンの中心市街地よりおおむね20分以内で、スタジアムから徒歩圏内にある電車の駅、バス(臨時運行を除く)の停留所、大型駐車場のいずれかに到達可能であること。 (2) 交流人口の多い施設(大型商業施設等)に隣接していること (3) 上記のほか、観客の観点からアクセス性に優れていると認められること | ★★★ | ★★★ | |
| | 入場ゲート | ワンタッチバスが設置できるスペースがあること 車椅子用の入場ゲートがあり、スロープ等で車椅子席にアクセスできること | ◎ | ◎ | |
| 観客用設備 | 授乳室 | どの席からも誘導でき、アクセス可能な場所に設置すること | ◎ | ◎ | |
| | トイレ | 1,000人の観客に対し、少なくとも洋式トイレ5台、男性用小便器8台を備えること | ★★★ | ★★★ | |
| | | 多目的トイレ | 車椅子席の近くに、席数に応じた数を設置すること | ◎ | ◎ |
| | 場外のトイレ | 開門前に使用できるトイレが観客用ゲート付近にあること | ★★★ | ★★★ | |
| ※ 入場可能数：ホームゲーム開催時に使用可能な数を指し、下記(1)、(2)、(3)の合計数とする。 (1) 入場券が発券できる座席の数 イ. 見切り席、常設の記者席、実況放送室等の座席は含まない ロ. 常設の飛び降り防止エリアの座席は含まない。ただし、当該エリアが調整可能な場合は数に含む。 ハ. ホームクラブとビジタークラブの観客間の緩衝地帯の座席数は含むが、常設の緩衝地帯の場合は含まない。 ニ. 立ち見エリアは施設管理者と協議の上入場可能な数とするが、新設及び大規模改修を行うスタジアムについては、観客席数の立見席は1段床あたり1人とし、1席の幅は45cm以上、段床の奥行は80cm以上とする。 (2) 前号以外の座席の数 イ. 常設のVIP席 ロ. 個室ラウンジ付きの観戦エリアは、テラスにある座席の数とする。個室ラウンジ内の座席数は含まない。 (3) 車椅子席の数 イ. 車椅子観戦エリアは座席がないが、車椅子1台分につき1席と数える。 ロ. 車椅子のヘルパー席は、常設の椅子が設置され、かつ実際に使用されている場合のみ数に含める。 ※ ハイブリッド芝：ピッチ全体が天然芝と5%以下の人工芝とを組み合わせるもの (1) 導入前に、ピッチ外でハイブリッド芝の実証実験を実施すること (2) 実証実験の結果をもとに、導入に関して理事会の承認を得ること | | | | | |

※出典：Jリーグ公式ホームページ「Jリーグスタジアム基準」より一部抜粋 (https://www.jleague.jp/sp/about/regulation/)